

Inspiration Camp in AOMORI 2021

第9回

未来ひらめき 創造塾

【2021実施レポート】

開催概要

(1) 目的

青森県内及び周辺地域の中学生を対象に、他の誰も考えないような奇抜な発想や直感を自らの内に探り・育てる体験を通して、無から新しいものを創り出すことの大切さや、創造力を発揮して未来を切り拓いていくことの楽しさを学ぶ。

(2) 参加者

青森県内及び周辺地域の中学生 45名（男子20名、女子25名）

(3) 開催日時

令和3年7月28日（水）～30日（金）

(4) 会場

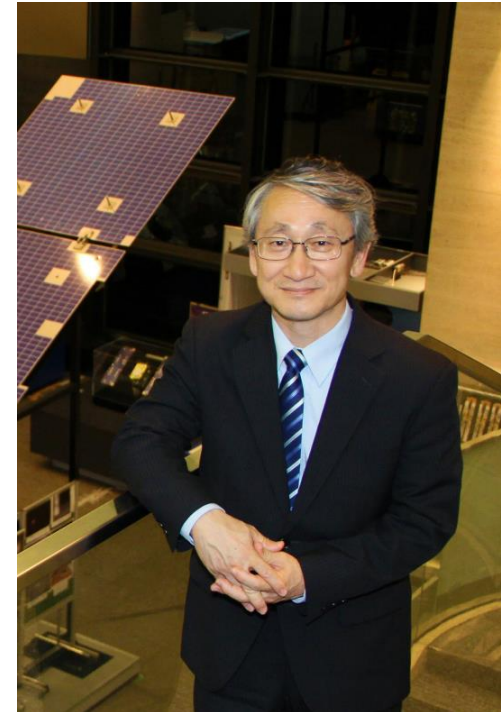
新青森県総合運動公園マエダアリーナ（青森市大字宮田字高瀬 22-2）
青森県観光物産館アスパム（青森市安方1丁目1-40）

(5) 参加費

10,000円（宿泊費、食費、傷害保険、材料費等）

(6) 塾長

東北大学特任教授・元宇宙航空研究開発機構(JAXA)
「はやぶさ」プロジェクトマネージャー教授 川口 淳一郎 氏



<プロフィール>

弘前市出身。宇宙工学者、工学博士。

1978年、京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループ・プログラムディレクター（JSPEC/JAXA）、1996年から2011年9月まで「はやぶさ」プロジェクトマネージャーを務めるほか、ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わった。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS/JAXA）宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月より、シニアフェローを務め、2021年JAXA退官。現在は東北大学大学院工学研究科特任教授。

第9回 全体カリキュラム

Inspiration Camp in Aomori 2021 (第9回未来ひらめき創造塾) カリキュラム

		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
1	7/28 (水)						プログラム	受付	開塾式 13:00-13:40 【サブアリーナ】	■交流企画1 ウォーミングアップ 13:50-14:50 【サブアリーナ】	休憩	■チャレンジプロジェクト1 <新しい“スポーツ”づくり> 15:00-17:30 【サブアリーナ】	チェックイン	夕食 17:50-18:30 【スカイスエット】	■交流企画2 川口塾長講話 <塾長との交流> 18:30-20:00 【サブアリーナ】	移動	入浴 自由時間	消灯・就寝
		新青森県総合運動公園												マエダアリーナ合宿所				
2	7/29 (木)	起床	朝食・掃除 【スカイスエット・各部屋】	移動・準備 8:00-9:00	■塾生と教師のひらめき創造教室1 <理科編：宇宙を想像してみよう> 9:00-13:00 【サブアリーナ・多目的運動場】				昼食 13:00-14:00 【スカイスエット】	■塾生と教師のひらめき創造教室2 <国際編：世界に目を向けると君のこれからが変わる> 14:00-17:00 【サブアリーナ】			消毒・会場 復元作業 17:00-18:00 【サブアリーナ等】	夕食 18:00-19:00 【スカイスエット】	移動	■理科編振り返り 19:10~20:00	入浴 自由時間	消灯・就寝
		マエダアリーナ合宿所			新青森県総合運動公園												主陸上競技場内会議室	
3	7/30 (金)	起床	朝食・掃除 【スカイスエット・各部屋】	移動・準備 8:00-8:30	移動	■チャレンジプロジェクト2 「青函交流プロジェクト 水鳥たちのウェットランド食堂」 9:00-12:00 【4 F 十和田】			閉塾式 12:15-12:45									
		マエダアリーナ合宿所			アスパム													

会場位置図



閉塾式
会場1
開塾式
宿泊

**開塾式
会場1
宿泊** } 新青森県総合運動公園マエダアリーナ
(青森市大字宮田字高瀬 22-2)

**会場2
閉塾式** } 青森県観光物産館アスパム
(青森県青森市安方1丁目1-40)

開塾式

【出席者】

- ・ 塾生
- ・ 塾生の保護者
- ・ 川口塾長
- ・ 三村知事、企画政策部長、地域活力振興課長

- 日時：1日目 7月28日（水）13:00～13:40
- 場所：新青森県総合運動公園サブアリーナ

【進行手順】

関係者入場

開会

塾生自己紹介

三村知事あいさつ

川口塾長あいさつ

記念写真撮影



交流企画 1 <ウォーミングアップ>

【趣旨】

簡単なゲームを通して、塾生同士の交流を促して緊張をほぐし、以降の塾プログラムへの導入を円滑にする。

【内容】

(1) バースデイサークル (10分)

- ・塾生全員が誕生日順に一列にサークル状に並んでもらう(1月1日に一番近い人が先頭で、12月31日に一番近い人が最後尾になる)。ただし、コミュニケーションをとるときに声を出してはいけない。

(2) グループごとに自己紹介 (10分)

- ・塾生を4人グループに分け、名札用紙に、この塾でみんなに読んでもらいたい名前を記入する。(本名でもニックネームでも可)
- ・名札を見せながら、自己紹介を行う。

(3) ワークショップ「雪山で遭難したら？」 (40分)

- ・コンセンサス実習の4つのポイントについて説明。
- ・ワークシートを配布し、個人で1～10のランクをつける。
- ・グループで話し合い、グループのランクを決める。
- ・各グループからランクの理由をつけて、発表する。
- ・模範解答のランクを発表し、班の点数をまとめる。

- 日時：1日目 7月28日(水) 13:50～14:50
- 場所：新青森県総合運動公園サブアリーナ



チャレンジプロジェクト1 <新しい“スポーツ”づくり>

【趣旨】

パラスポーツやニュースポーツを体験し、誰もが楽しめる新しい“スポーツ”を考案する

【内容】

(1) パラスポーツ・ニュースポーツを体験しよう (30min)

各スポーツに2グループを配置し、正規のルールでプレイする。

(2) 誰もが楽しめる新しい“スポーツ”を創造しようよう (120min)

グループで体験したスポーツをもとに新しいスポーツを創造する。

グループ内、他のグループにプレイしてもらい、ブラッシュアップを繰り返す。

各スポーツごと、新しいスポーツの名前と内容を発表する

※ウォーミングアップでできた8チームで実施する。

※大きく動けるように余裕をもって配置する。

※以下の項目について、それぞれのチームが考えたゲームを互いに評価し合う。

[評価項目]

- ①楽しさ
- ②ルールのわかりやすさ
- ③独創性 (新しさ)

- 日時：1日目 7月28日(水) 15:00~17:30
- 場所：新青森県総合運動公園サブアリーナ



交流企画2 <川口塾長講話>

- 日時：1日目 7月28日（水）18:30～20:00
- 場所：新青森県総合運動公園サブアリーナ

【テーマ】

【テーマ】

やれる理由こそが着想を生む ～「はやぶさ式思考法」～
～「はやぶさ2の新たな挑戦」～

【内容】

- (1) 川口塾長からの講話
- (2) 質問タイム

【塾生の声】

- ・川口塾長の現場の話聞いてとても面白かった。
- ・宇宙に関しての話、沢山の名言をきけてよかった。
- ・塾長の講話では、自分が知らないことについて知ることができてよかった。
- ・何を言われても自分の研究を続けて成果を出した塾長のように、初対面のみんなで意見を言い合い、合体させてよりよくする。そんな社会の先頭に立つことのできる人間になりたい。



塾生と教師のひらめき創造教室 1 <理科編>

【趣旨】

ペットボトルロケットの製作／打上実験を通してロケットの飛ぶ原理を理解するとともに打上時における安全管理についても体験する。

【企画・運営】

講師：NPO法人宇宙アドバイザー協会 三枝 博氏
アシスタント：青森市少年少女発明クラブ講師

【内容】

- (1) 三枝氏による講話及び水ロケット製作
三枝氏から、「ロケットはなぜ飛ぶのか」というテーマで講話をしていただき、その後グループごとに水ロケットを製作した。
- (2) 水ロケット打ち上げ体験
多目的運動場に移動し、グループごとに水ロケットの打ち上げを行った。水の量や発射台の角度、ペットボトルに入れる空気の量を工夫し、中には100mを超す飛行をした人もいた。
- (3) 振り返り（19:10～20:00）
「ロケットを打ち上げることでできる課題解決は何か」というテーマで、グループごとに分かれ議論し、発表をした。

■日時：2日目 7月29日（木） 9:00～13:00
19:10～20:00

■場所：新青森県総合運動公園サブアリーナ・多目的運動場
陸上競技場内会議室



塾生と教師のひらめき創造教室 2 <国際コミュニケーション編>

■日時：2日目 7月29日（木）14:00～17:00

■場所：新青森県総合運動公園サブアリーナ

【趣旨】

外国人旅行者が増加し、オンラインでの海外での交流が増えてきている中で、文化背景が異なる人との関りが頻繁になってきている。将来を担う中学生が異文化を受け入れることについて知り、コミュニケーションスキルをトレーニングする機会とする。

【企画・運営】

講師：市民による国際協力実行委員会 菊池 昌子 氏
 （一社）青森市国際交流協会 斎藤 誠子 氏
 青森中央学院大学国際交流課 金川 利江子氏
 サポート：青森中央学院大学留学生
 青森市国際交流員、今別町国際交流員等

【内容】

(1) 買い物ゲーム 通じない言語でのやりとりを体験
 留学生（5～6か国を想定）から参加者がミッションを達成するために必要な物品（カード）を調達するゲーム。

(2) ホフステッド理論 国の特徴を6つのベクトルで具体的に考えてみる
 ホフステッド理論の6つの部分を紹介、説明後、日本を始め、他国をスコアで表し比較する。
 留学生を交えながらグループワーク（お互いの国の違いについて知るなど）を行う。

(3) 文化の違いについての受け入れ方？

異文化は「日本ー外国」だけではない。年代・出身地等様々な異文化があることを理解し、これは信じられないというような他国の文化にどのように適応するか、受け入れていくかを話し合う。



チャレンジプロジェクト2 「青函交流チャレンジワークショップ」

- 日時：3日目 7月30日（金）9:00～12:00
- 場所：青森県観光物産館アスパム 十和田

【趣旨】

湿地とそこを隠れ家や渡りの補給地として使っている無数の水鳥たちの生態を理解するアクティビティをを通じて、「チームワークや決断力（ひらめき）・問題解決の方法（創造）」等のスキルを学ぶ。

【企画・運営】

講師：水産・海洋コーディネーター 工藤 世一 氏

【内容】

（1）セッション1

塾生は、湿地帯の研究をしている科学者になって湿地帯のビデオ・ジャーニーに出かける。ビデオを見ながらワークシートを完成させ、鳥や鳥の食べ物の取り方について今知っている知識を引き出す。

（2）セッション2

塾生は、異なる形や大きさのくちばしを持った様々な種の鳥に扮してバイキング競争を行う。塾生は、それぞれの「くちばし」を使って様々な種類の食べ物を集め、結果をグラフ化し、その成果を比較する。

（3）セッション3

3つのタイプの食べ物が同時に与えられた時にはどの種類の食べ物を集めたらいいか考える。次にグループに分かれて、湿地帯にいる鳥の食べ物の取り方について学んだことをキーコンセプトにまとめる。



閉塾式

【出席者】

- ・ 塾生
- ・ 塾生の保護者
- ・ 川口塾長
- ・ 柏木副知事
- ・ 東企画政策部長
- ・ 奥田地域活力振興課長

【進行手順】

閉塾式開始

修了証交付

プレゼンター：川口塾長

MVPの贈呈

プレゼンター：川口塾長

副知事あいさつ

川口塾長あいさつ

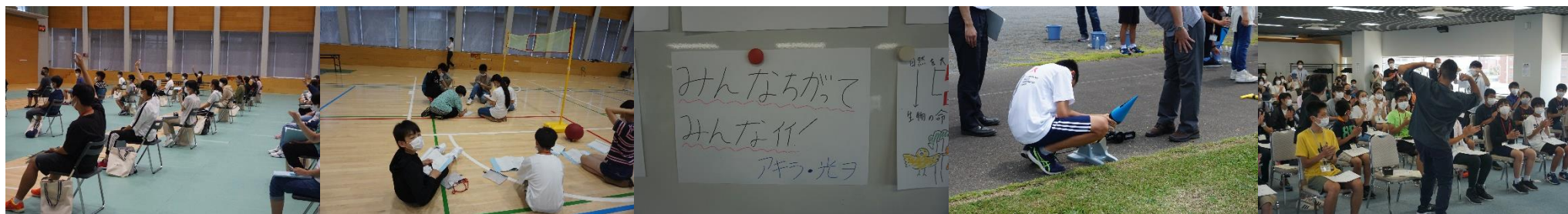
記念写真撮影

■日時：3日目 7月30日（金）12:15～12:45

■場所：青森県観光物産館アスパム 十和田



Inspiration Camp in Aomori 2021



青森県企画政策部地域活力振興課

